

アジア歴史資料センター

陸軍省

陸軍省

6850

副友多野輝才二六部隊參謀長へ通牒
九月五日附報九兵銃才七五才中、該、趣左記
1 通承知相成及依令通牒ス

左記

一、奉銃ハ逐次補給ス

二、實包ハ現在整備シテモノミトシ其レ以外ハ

當分補給シ得ズ

陸軍省第三七一八號

昭和拾七年九月廿八日

副友多野陸軍省本部部長へ通牒

別紙年々寫一通申該ニ付之乎、通
通牒セシニ付可然取計ハレ及依令通
牒ス

追々費用ハ令達務算由文新存念

陸軍省第三七一八號

昭和拾七年九月廿八日

0690

官房
寫

朝九兵銃第七五號

將校准士官軍裝用拳銃同實包補給相成度件申請

昭和十七年九月六日

朝鮮第二〇八六部隊長 青木重誠

陸軍大臣 東條英機 殿

陸亞審第一七一六號並八月四日兵器局「兵第九二二號」ニ基ク首
題兵器別紙ノ通り補給相成度申請ス

陸軍省

陸軍

東京小津納

別紙

陸軍

將校准士官軍裝用學統同質包補給數量調査表

一、學統				二、學統實包			
要補給者區分	數量	備	要	口徑	員數	備	要
乘馬本分者ニシテ私物學統所持シアラサル者	九〇			六耗	三〇	リビーア	三〇
定員未充足者（鮮内召集未済ノモノ）ニ對スル豫想數	五〇	將來移動見習士官ノ充足等ヲ含ム		六耗	四六九	モーゼル ブローニング ホルト ヘネール ブレツシュ チェツコ	二二二 一九九 一七 六五 六
合 計	一四〇			六耗五	六〇	南部式	六〇
一、學統				七耗	一七二	ハリントン 南部式 リゼント	八〇〇 九〇〇 二〇
二、學統實包				七耗三五	五	オートギイズ	五
三、學統				七耗六五	一四三七	ブローニング アームス ローヤル ザイアブル レリアブル アストラ	八〇二 一四 一六八 六 三〇 六
四、學統				八耗	三一二四	十四年式 九四式 ホルト	一六一九 一四三〇 三五
五、學統				合 計	五二九一	ブルワーク アスタ	三〇 一〇〇

T690

備考
一、學統欄中第一項人員ハ九月一日現在トス

乙第

陸軍密第

第

陸軍

將校准士官軍裝用拳銃同實包補給件

昭和七年九月 日

陸軍省副官

朝鮮第〇入大部隊參謀長殿

九月六日附朝九九矢銃第〇五號申請趣
左記ノ通承知相成度依命通牒ス

左記

一、拳銃ハ逐次補給ス

二、實包ハ現在整備シアルモノニシテ其レ
以外當分補給ニ得ズ

0593

朝九九兵銃第七五號

將校准士官軍裝用拳銃同實包補給相成度件申請

昭和十七年九月六日

朝鮮第二〇八六部隊長 青木重誠

陸軍大臣東條英機殿

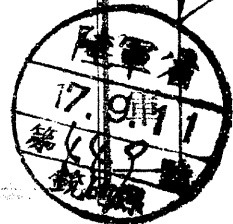
陸亞密第一七一六號並八月四日兵器局「兵第九二二號」ニ基ク

首題兵器別紙ノ通り補給相成度申請ス

三八



陸



(近江)

將校准士官軍裝用拳銃同實包補給數量調査表

將校准士官軍裝用拳銃同實包補給數量調査表				
一、拳銃				
要補給者區分		數量	摘	要
乘馬本分者ニシテ私物拳銃所持シアラサル者		九〇		
定員未充足者（鮮内召集未済ノモノ）ニ對スル豫想數		五〇	將來移動見習士官ノ充足等ヲ含ム	
合 計	計	一四〇		
二、拳銃實包				
口徑	員數	摘	要	
六 耗	三〇	リビーア	三〇	
六 耗 三五	四六九	モーゼル	二二二	
		ブロー ニング	一九九	
		ホルト	一七	
		ハネール	三五	
		ブレツシュ	六	
チエツコ	三〇			
六 耗 五	六〇	南部式	六〇	
		ハリントン	八〇	
七 耗	一七二	南部式	九〇	
		リゼント	二	
七 耗 三五	五	オートギイズ	五	
		ブロー ニング	八〇二	
七 耗 六五	一四三	アームス	一四	
		ローヤル	一六八	
		ザイプル	六	
		レリアプル	三〇	
		アストラ	六	
八 耗	三一二四	十四年式	一六一九	
		九四式	一四三〇	
合 計	五二九一	ホルト	三五	
		ブルワーク	三〇	
考 備		アスタ	一〇	
		ハリントン	二〇	
一、拳銃欄中第一項人員ハ九月一日現在トス				